

稲作は、昔から私たちが生きる上で最も大切な生業として重視され、それによって得られるお米は、神様が食される神聖な食物であると同時に、生きてゆく糧として、いわば「生命の根源」として、今日まで大切に受け継がれてきました。国学者の本居宣長も稲を「命根」、つまり「生命の根源」と評しているように、神社でお供えされる神饌も米、

# 新嘗のころ

## 勤労感謝の日から新嘗祭の復興

続いて餅、酒と「米」を欠かすことができません。

そして日本人は、毎年の稔りの感謝を神様にこころで表し、そこから「祭り」や「儀礼」などの精神文化も発展させました。「新嘗のころ」は、三回に亘る講座と収穫体験を通して、日本文化の根底にある「稲作」と新嘗祭のこころを学び、私たちが忘れかけている稔りの喜びと感謝を体験する講座です。



### 特別編

#### 御田植え

田植え・豊作祈願祭奉仕

日時・平成二十八年六月十八日(土)

講師・茂木 貞純(國學院大學教授)

小野善一郎(湯島天満宮権禰宜)

会場・古宮神社(埼玉県熊谷市)

### 第一回

#### 宮中の新嘗祭

日時・平成二十八年七月二十九日(金) 十八時三十分

講師・小野善一郎

会場・日本文化興隆財団

### 第二回

#### 神宮の新嘗祭

日時・平成二十八年九月九日(金) 十八時三十分

講師・小野善一郎

会場・日本文化興隆財団

### 第三回

#### 新嘗のころ

稲刈り・新穀感謝祭奉仕

懸税作り・脱穀糶摺り体験など

日時・平成二十八年十月一日(土)

講師・茂木 貞純(國學院大學教授)

寺田 優(寺田本家代表取締役)※予定

小野善一郎(湯島天満宮権禰宜)

会場・古宮神社(埼玉県熊谷市)

※講師は変更になる場合があります。



# 新嘗のころ 勤労感謝の日から新嘗祭の復興

## 特別編 御田植え

42名  
限定

講師：茂木貞純（國學院大学教授）・小野善一郎（湯島天満宮権禰宜）  
受講料：12,000円※事前申込制

秋の収穫感謝の新嘗祭に対して、豊作を祈る「春祭り」と称される「祈年祭」を「御田植え」を通して体験しながら学ぶ特別講座です。実際に田んぼに入り田植え体験を行い、古宮神社で参加者全員で豊作祈願祭を奉仕し稲が豊かに実ることを祈念します。最後は直会（なおり）で、恩頼（みたまのふゆ）をいただきます。

○日時：平成28年6月18日（土） 8:00～18:00（予定） ○会場：古宮神社（埼玉県熊谷市）と近接圃場

8:00集合・出発  
新宿駅西口 古宮神社（埼玉県熊谷市）  
「祈年祭とは」 茂木貞純 國學院大學教授・古宮神社宮司  
「むすひのころ」 小野善一郎 湯島天満宮権禰宜  
昼食 体験1 田植え 体験2 豊作祈願祭 直会 ※日本酒の試飲もあります 18:00到着予定  
新宿駅西口

※費用には、貸切バス代・昼食及び直会代・各体験費用が含まれます。 ※講師が変更になる場合があります。

※雨天決行します（荒天の場合は中止）。

## 第1回 宮中の新嘗祭

講師：小野善一郎（湯島天満宮権禰宜） 受講料：2,500円※事前申込制

新嘗祭は、天皇陛下が神嘉殿において新穀を皇祖はじめ神々にお供えになり、神恩を感謝された後、陛下自らもお召し上がりになる祭祀です。本講座は新嘗祭を知り、日本の精神文化の原点を学ぶ講座です。

○日時：平成28年7月29日（金） 18:30～20:00 ○会場：一般財団法人日本文化興隆財団会議室

## 第2回 神宮の神嘗祭

講師：小野善一郎（湯島天満宮権禰宜） 受講料：2,500円※事前申込制

伊勢の神宮において神嘗祭は、その年の新穀を大御神に奉り、ご神徳に報謝申し上げ、皇室の弥栄、国家安泰、五穀豊穰、国民の平安を祈るもとても重要な祭祀です。新穀感謝の心を学び、日本文化の地下水脈を探求する講座です。

○日時：平成28年9月9日（金） 18:30～20:00 ○会場：一般財団法人日本文化興隆財団会議室

## 第3回 新嘗のころ

42名  
限定

講師：茂木貞純（國學院大学教授・古宮神社宮司）・寺田優（寺田本家取締役）  
小野善一郎（湯島天満宮権禰宜） 受講料：13,000円※事前申込制

私たちの先祖が、稔りの感謝の心から「祭り」や「儀礼」の精神文化を発達させた過程を学び、実際に稲作体験を通して新穀感謝の喜びを体験する講座です。実際に収穫するほか脱穀、粳摺り体験を行い、古宮神社で参加全員で新穀感謝祭を奉仕し、神宮に奉納する懸税（かけちから）も作ります。最後は直会（なおり）で、恩頼（みたまのふゆ）をいただきます。

○日時：平成28年10月1日（土） ○会場：古宮神社（埼玉県熊谷市）と近接圃場

8:00集合・出発  
新宿駅西口 古宮神社（埼玉県熊谷市）  
「神道と米」 茂木貞純 國學院大學教授・古宮神社宮司  
「米と日本酒」 寺田優 寺田本家取締役※予定  
「新嘗のころ」 小野善一郎 湯島天満宮権禰宜  
昼食 体験1 稲刈り 体験2 新穀感謝祭 体験3 懸税作り・脱穀・粳摺り  
直会 ※日本酒の試飲もあります 18:00到着予定  
新宿駅西口

※費用には、貸切バス代・昼食及び直会代・各体験費用・収穫米（一人1kg）が含まれます。 ※講師が変更になる場合があります。

※第3回は、第1回、第2回の両講座を受講いただいた方が参加できます。雨天決行します（荒天の場合は中止）。

お申し込み方法 FAX 03-3475-5805 ・ 電話 03-5775-1145 ・ インターネット <http://www.nihonbunka.or.jp>

①ファックス・電話・インターネットからお申し込み下さい。（FAX・電話申込の方は郵便払込取扱票をお送りします）

②ご入金確認後、受講日一週間前までに受講票をお送りしますので当日持参して下さい。

郵便番号	住所			
氏名	ふりがな			電話
受講希望回に ○をしてください	特別編 (12,000円)	第1回 (2,500円)	第2回 (2,500円)	第1回～第3回 (18,000円)
				※第3回は第1回と第2回の両講座を受講され方が受講できます。事業の趣旨をご理解いただきたくお願い申し上げます。

お問い合わせは：一般財団法人日本文化興隆財団 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10

電話 03-5775-1145 FAX03-3475-5805